

第 74 号

編集・発行
白山高等学校PTA印刷
伊藤印刷株式会社

2022. 7

ご挨拶



PTA会長 畑 公之

本年度、白山高等学校のPTA会長を務めさせていただくことになりました。四月から新年度がスタートしました。いまだに新型コロナウイルス感染症の影響があり、感染症拡大防止のため、皆様におかれましては、家庭生活のなかや、学校生活で、子どもたちの健康維持や、密閉、密集、密接の回避、消毒やマスクの着用といった感染防止対策を徹底していただいていること、心より感謝申し上げます。

さる五月に行われたPTA総会にて、会長という大役を任命されましたが、生徒たちが、楽しんで勉強に一生懸命取り組み、充実した学校生活を送り、白山高校で学んだことに誇りをもって世の中で活躍してほしいと望んでいます。ぜひその一助を担うことができると考えています。今、社会では、民法の一部改正により、成年年齢が引き下げられ、高校生の中でも成年年齢に達した生徒

への教育や法整備が進められていきます。子どもも子どもを見守る立場として、学校とともに、社会とのかかわりを自覚させ、自立した人間となるよう、主体的に行動する力を身につけ、地域の活性化に貢献できる一人の人間として成長してほしいと思います。そのため、地域とかがわりを密にし、積極的に学校行事にも協

ご挨拶



校長 奥出 博之

日頃よりPTA活動などを含め、本校の教育活動に御理解・御協力をいただき、誠にありがとうございます。三重県のまん延防止等重点措置も終了し、今年度に入り新型コロナウイルス

力、サポートしていきたいと思います。六月十二日(日)には、家城地区クリーン作戦に生徒たちとともに保護者代表として参加しました。地域の方々も白山高校を温かく見守っていただき、同時に期待していただいていることを感じました。

本年度もコロナ禍で限られた活動になってしまふことが予想されますが、保護者の皆さまには、是非、PTA活動にご参加いただきたくお願い申し上げます。

また、よりよいPTA活動にしていく為にも皆さまからのご意見を取り入れ、実りある活動となりますよう努力して参りますので、よろしくお願いたします。

ウイルス感染症対策の基本的対処方針も変更され、通常の日常生活が戻りつつあるなか、ご家庭におかれましては、さまざまご対応をいただいておりますこと、重ねてお礼を申

し上げます。

本校の目指す学校像(スクールミッシヨン)は、「地域を愛する若者を育成し、地域の活性化に貢献する取組みを行う学校」とし、地域から信頼

される学校づくりに取組んでいます。今年本校に赴任し、約三か月が経過したところですが、早速六月には、地域の方々とともに学校近隣のクリーン作戦(清掃活動)を実施しました。地域の様々な年齢の方との交流を通して自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、表現し行動できる資質や能力を育むために、このような取組みは、必要だと改めて実感しました。

校内での学習活動では得難い活動ができ、貴重な経験となりました。

さて、五月の春季東海地区高等学校野球三重県大会では野球部がベスト4の活躍、三重県総合体育大会では、陸上競技部やボクシング競技で東海大会に出場することとなるばかりか、輝かしい成績を残す生徒もいました。また、六月の体育祭では、当日の各種競技や応援に全力で挑む姿のみならず、クラス旗制作など準備にも意欲的に取組み、生徒の笑顔を見ることができました。新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けることのない通常の授業、部活動、学校行事が行えることの喜びを感じ

ているところです。様々な教育活動を通して、自らの夢の実現のために長所を発見し、自信をつけ、これからの人生を生き抜く力を身につけて欲しいと思います。

高校生活は、学習や部活動などの教育活動に取組み、自分が将来何をしたいのか、どう生きるべきなどについて考えを深め、その後の生き方を大きく方向付けする大切な時期となります。そのような時期だからこそ、学校・家庭・地域の関係者が、さまざまな課題を共有しながら教育活動を進めることが、一層求められています。

本校では地域とともに学校づくりを進める「コミュニティ・スクール」の指定を受けています。地域との連携という視点から本校の教育活動を支援していただき、子どもたちの希望の実現をめざして、学校を運営しています。また、家庭との連携という視点では、家庭は子どもの基本的な生活習慣、学習習慣など、すべての教育活動の基盤となります。PTA会員の皆様には、家庭でのコミュニケーションを通して子どもを導いていた点とともに、本校の教育活動の充実・発展のために、今後ともより一層の御理解・御協力をお願いいたします。ご挨拶とさせていただきます。

各分掌より

教務部

「白山高校の教育」

教務主任 野田 真司

平素は白山高校の様々な教育活動にご理解とご協力を賜りまして厚くお礼を申し上げます。今年もよろしくお願いいたします。

本校では、学校が取り組む姿勢として「あいさつ・ルール・美化の三つの言葉を核に進める」というのがあります。教務部としても、「一、きちんと挨拶ができる。」「二、時間を守り、身の回りの整理・整頓、掃除などができる。」「三、相手の気持ちを考え、ルールを守り適切に行動することができる。」の三つの目標を掲げて取り組んでいます。また、卒業後の進路希望をかなえられるように、また、社会人にふさわしい知識や態度の形成のため、三年間の授業を中心とした学習活動をはじめ、部活動、生徒会活動などいろいろな活動を通して進めています。

しでも生徒にとつてわかりやすい授業ができるよう、『ユニバーサルデザイン授業』を行うことに力を入れています。また、一年生のほとんどの科目の授業で、クラスを分割した授業、TT(チームティーチング)の授業を行い、きめ細かい指導とともに、落ち着いて授業を受けられる環境づくりを進めており、生徒が安心して授業を受けられるように取り組んでいます。

また、総合的な探究の時間では、本校の教育目標である「地域を愛し、地域の活性化に貢献できる若者の育成」に沿って、各学年で様々な活動をしています。一年生では、今年度から導入された一人一台端末の使用方法を学習し、それを教科学習や調べ学習に活用することで、学習することの意義や「生きる力」について考えさせる授業を行っています。二年生では、「地域課題解決型学習」を主たるテーマに、「ヒト・モノ・シゴト、福祉、農業・地域名産品、観光、学校発信、地域発信」の六分野に分かれ、それぞれの分野の視点から地域





授業風景②
1年：総合的な探究の時間



授業風景①
1年：英語コミュニケーションI

の課題解決や活性化についての活動を行っています。三年生では、年間を通してのインターンシップを、地域の事業所の皆さんにご協力をいた

だき、実施しています。また、面接指導、作文指導にも力を入れ、生徒の希望する進路が実現できるように取り組んでいます。

今年度から、学習指導要領の改訂に伴って、新しい教育課程による授業が始まりました。授業の中身や求められる力が変わり続ける中、ICT機器を活用する授業など、生徒にとってより充実した授業を行えるように、様々な取組をしているところです。

このような学習活動を通して、生徒が成長することを願い、生徒の意欲に応えるためのサポートをさせていただきますので、今後ともご協力をお願いいたします。

生徒指導部

『日進月歩』

生徒指導部主任 仲 徹也

最初に、新型コロナウイルスの影響から、分散登校のためバスの運行を行うなど、様々な面で例年とは異なる状況が続いております。そんな中でも、生徒達が柔軟に対応し、協力し合う姿を見ると心強く思います。ご家庭におかれまして

も、ご協力いただきありがとうございます。

白山高校では、「あいさつ」、「ルール」、「美化」の三つのことを大切にしています。

「あいさつ」については、生徒指導部や生徒会が中心となって毎朝校門前で挨拶運動を行っています。生徒会の生徒たちが、毎朝元気にあいさつ運動をしていくので、多くの生徒がそれに対し、あいさつを返してくれます。中には恥ずかしがって礼だけの生徒、または、声に出なくてニコツと笑ってくれる生徒もいます。やはり、あいさつは生活の基本ですから、今後もしっかり継続していきたいと考えています。

「美化」について、生徒会メンバーと生徒会顧問が毎朝、ゴミ拾いをしています。登下校のゴミは年々少なくなっており、生徒一人ひとりのモラルが向上していると思います。今後も粘り強く啓発を行っていきます。「ルール」について、生徒指導部では学校のルールについて生徒にたくさん言葉掛けをします。社会に出て頼られる人間になるために、ルールを守ることは大変重要なことだと思います。

日ごろから生徒にはよく言っていますが、人間は成長していく過程で

必ず失敗をするものです。しかし、その失敗から成功へつながる何かをつかむことが大切で、それを学ぶのが学校なのだと思えます。例えば安易に遅刻を繰り返してしまっても、

遅刻指導のあと、全く遅刻をしなくなった生徒たちがいます。おそらくその生徒たちは「遅刻はだめ」ということを感じてくれたのだでしょう。白山高校にはそんな生徒がたくさんいます。失敗から得る教訓を大切に、日に日に絶え間なく成長、進歩してくれる生徒が今後も増えるよう、生徒指導部としては、時に厳しく、時に優しく生徒を見守っていききたいと思います。

進路指導部

白山高校の進路指導

進路指導部 土方 正仁

本校では、各学年とも一学期に進路オリエンテーションを実施したうえで、各学年に応じて、大きく進路をとらえるところから具体的に方向性を決めていくところまで、生徒一人ひとりに現在と将来をしっかりと見据えさせることができるような進路指導を順に進めています。

具体的には、一年次には二学期以



5月26日 3年生進路ガイダンスより

降に地元企業との交流会や職業別体験授業(体験型ガイダンス)、二年次には、企業・学校見学会、さまざまな業界の方を招いて行うパネルディスカッション、全職員による面接指導、三年次には各種の全体指導、合同就職相談会への引率、面接指導、夏期セミナー、赴任指導などを行っています。時には近年卒業した先輩たちを招いてお話を聞いたり、様々な専門分野の外部の方からお話をうかがう機会を設けたり、進学情報一度に複数得られるよう学校からバスを出して「進路フェスタ」に参加したりもしています。

自宅から通えるところでの進路実現を希望する生徒たちが、卒業後地域を愛し、地域を活性化してくれるよう、地域のみなさんのご助力も得ながらキャリア教育を充実させていきます。今年とは異なり、概ね例年通りに進んでいます。三年生の金曜午後のインターンシップもほぼ順調におこなえている状況です。また、放課後の面接練習も良い姿勢で取り組むことができています。三年生はいよいよ就職活動本番に突入していきます。就職関係の日程は九月十六日選考開始となり、従来通りに戻りました。できるだけ希望に添えるよう、また個々の適性にあつたところを紹介していけるよう今年度も就職実現コーディネーターやハローワークのジョブサポーターのご協力も得ながら進めてまいります。四月以降、三年生生徒諸君は、欠席を少なくし、学校の勉強にもさらに熱心に取り組んでいる様子が見られます。五月には、どこにでも通用する証明写真の撮影を行い、進路ガイダンスなど企業や大学専門学校の方の話を直接聞く場を設けるとともに、一般常識をテストし、『進路のてびき』を活用したガイダンスを行い、面接指導にも取り組んでおります。そこからは、それぞれが自分の進路

希望の実現に向けて、前向きに取り組もうとする意欲が感じられます。その先輩たちの姿を見て下級生たちも徐々に社会人になれる態度が身についていくようです。最後まで手を抜かず、一人ひとりの希望実現にむけて精一杯支援してまいります。今後ともご支援、ご協力をお願いいたします。

保健部

保健部より

スクールソーシャルワーカーの拠点校となっております。スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの面談は、保護者の方もご利用になれます。お子様の気になる様子や心の悩み、また保護者の方ご自身の子育ての悩みにも、相談をお受けいたします。加えて、必要に応じて学校生活スペシャリスト、先生にも来校いただき、相談をすることも可能です。専門的な知見をお持ちの各先生方とともに、お子様の学校生活を支援させていただきたいと考えております。

日頃より、さまざまな場面でお子様のご生活を支えていただき、ありがとうございます。また新型コロナウイルス感染症対策に関しては、登校前の検温のご協力、またマスク着用等の学校における感染症対策にご理解、ご協力をいただきまして、心から感謝いたしております。本校の保健室では、健康診断、健康相談、応急処置を行っております。その他の活動としまして、性に関する指導、命を大切にする教育なども実施しております。今年度も引き続き、感染症対策をしながら、保健教育を行ってまいります。また本校はスクールカウンセラー、



オンライン保健講話

夏季休業中のスクールカウンセラー来校日は、八月二十五日(木)、二期最初の来校日はスクールカウンセラーが九月一日(木)、スクールソーシャルワーカーは九月十二日(月)を

図書館

図書館より

(概要)

蔵書数…約一五、八〇〇冊
 新聞…三誌
 雑誌…十誌
 検索・学習用パソコン…三台
 座席数…三十六席
 貸出冊数…十冊まで
 貸出期間…二週間

白山高校図書館は二棟三階に位置し、クラスの教室と近いため、授業の間の休憩時間にも生徒が気軽に来館します。読書や勉強、電車待ち、くつろぎの場所として利用されています。

学校図書館は、読書相談や生徒が本に親しむように取り組んでいます。六月に「梅雨の読書キャンペーン」、七月に「白山高校生に読んでほしい本」の冊子の発行、秋の読書週間に

予定しております。面談を希望される場合は、担任または保健室までご連絡ください。
 今後とも、白山高校保健部の活動に、ご協力よろしくお願いたします。



「図書委員のおすすめ本」の展示などを行います。また、調べ学習などで、授業でも利用されています。

本校図書館の蔵書は、生徒を通じて保護者の方もご利用いただけます。ホームページにて、新着図書案内を掲載しておりますので、また、ご活用ください。

生徒会

生徒会より

本年度も、生徒会の最初の活動として、四月に新入生を迎え恒例の対面式を実施することができました。

また、部活動紹介や見学期間を経てそれぞれの生徒たちは希望する部

に入部し、放課後や週末には練習に一生懸命取り組んでいます。新型コロナウイルス感染症対策のために活動に制約を受けることもありましたが、その中でも成果を上げて、県大会や東海大会に出場するクラブの選手たちを全校生で応援する壮行会を開催できるのは嬉しいことです。

さて、生徒たちにとって大きな学校行事と言えば、体育祭と文化祭です。今年は雨で一日順延となりましたが、六月二日に体育祭を開催し、保護者の方にも観覧していただきました。クラス旗を作ったり、お揃いのクラスTシャツを着たりして競技や応援に盛り上がりました。種目は少ないですが、クラスみんなで団結して取り組む綱引き、大縄跳び、クラス対抗リレー、また、クラブ対抗



リレーなど、高校生活の楽しい思い出になったのではと思います。また、文化祭に関しては、現時点では、十一月に開催する予定です。新型コロナウイルス感染症状況に配慮した上で、安全に実施できて生徒みんなが楽しめる企画内容を、今後、生徒会役員とともに考えていきたいと思っています。

また、今年は生徒会活動の一環として、六月十二日に地域住民の方々と協力して恒例の「家城地区クリーン作戦」という清掃活動に参加しました。約六十名の生徒と教員と保護者の方で地域のゴミ拾いをしました。日頃は、家城駅や通学路の清掃にも取り組んでいます。

また、生徒会役員と生徒会顧問で毎朝、校門での挨拶運動を実施しています。朝、校門で大きな声で挨拶をすると、ほとんどの生徒が元気に挨拶をしてくれます。これからも地域社会に支えていただけるように、生徒一人一人の意識向上に取り組むたいと思っています。

今後とも、保護者の皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いたします。



部活動の紹介



硬式野球部

私達白山高校野球部は、現在三年十六名、二年九名、一年十六名、マネージャー二名の計四十三名で日々の練習に励んでいます。

新チームとして秋季三重県大会では、二回戦で津商業高校と対戦し敗退しました。自分たちの力を充分に出し切れないまま大差で敗れてしまいました。悔しい気持ちを胸に、自分たちの練習姿勢や意識をこれまで以上に改善し、個人のレベルアップ、チーム力向上を目指し、日々練習に励んできました。

そして迎えた春季大会。中地区予選で津商業高校と対戦しましたが、またしても大差で負けてしまいました。なんとか出場できた県大会での勝利を目標にかかげ、春季大会では初のベスト4入りを果たすことが出来ました。自分たちのレベルアップに驚きと自信を感じることができました。



三重県大会の頂点を目指して日々練習に励んでいます。練習が出来ることの喜びや仲間と白球を追う時間の尊さをかみしめながら、応援してください。今自分たちに出来ることを精一杯打ち込み、応援してくれる全ての

方に感動を与えられる試合が出来るよう頑張っています。

保護者やOBの方々、そして地域の皆様には、日頃から白山高校野球部の活動にご理解ご協力を賜り、部員、顧問一同、深く感謝いたしております。部員達には、高校野球に携わる者として、野球を通して、人としても大きく成長してもらいたいと願っています。最後の大会、チームの力の一つにして一戦必勝で勝ち進み、甲子園出場を果たせるよう頑張ります。今後とも、応援よろしくお願いたします。

陸上競技部

本年度陸上競技部は、男子十名、女子三名の計十三名で活動をスタートしました。

トラック種目は短距離・フィールド競技は投てきという種目に絞り、今年も全員自己新・東海大会出場・全国大会出場を目標に日々の練習を重ねています。

さて、昨年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により多くの競技会に制限がかかりました。今年度は春先から競技会のひとつが開催さ

れており、とても有り難いことだと感じております。

『陸上競技をするのは、目標を達成して自分が喜ぶと同時に、家族や仲間を喜ばせ、地域や学校に刺激を与えることが目的』という白山高校陸上競技部の活動方針のもと、今シーズンも頑張っていこうと思います。五月の県高校春季大会では、三年生の奥川が男子円盤投に出場し、それまでの自己記録を大幅に上回る三六m五七の自己新記録で六位入賞を果たしました。また、同じく五月の県総体では二年生の晴山が女子砲丸投で六位入賞し、東海総体の出場権を獲得することができました。三年生の奥川は春季大会の記録をさらに二m更新する投てきをみせ七位に入賞することができました。

六月の東海総体では十七位という結果でしたが、ファールながら自己記録を大きく上回る投てきも出ており、とても収穫のある大会となりました。

シーズン前半が終わり、冬期練習からの目標を達成できた者や、達成までもう少しというところで悔しさを感じた者もあり、それぞれが次の大会や秋のシーズンに向けてモチベーションを高めるきっかけになったのではないかと感じています

今後の大会予定

三重県陸上競技選手権大会（伊勢）

七月九日（土）～十日（日）

東海陸上競技選手権大会（三重）

八月二十日（土）～二十一日（日）

三重県高校新人大会（伊勢）

九月十七日（土）～十八日（日）

U18陸上競技大会（愛媛・松山）

十月二十一日（金）～二十三日（日）

東海高校新人大会（岐阜・長良川）

十月二十九日（土）～三十日（日）

シーズン後半も、結果より競技そのものを楽しむことを大事にしてほしいと思います。白山高校での陸上競技をやり切りましょう！

バスケットボール部

男子バスケットボール部は現在三年生三名、二年生二名、一年生四名の計九名で日々の練習を励んでいます。今年度行われた県総体地区予選においては、県大会出場をかけた二回戦で伊賀白鳳高校と64対72と惜しくも負けてしまい、県大会への出場を逃しました。しかし、人数も少なくイレギュラーな状況の中、チーム



一丸となって戦い抜くことができずした。他校の先生方に、「他の学校を見て、応援したいと思ったのは初めてだ。本当に感動する試合だった。」と激励の言葉と、次の大会に向けて沢山のアドバイスをいただきました。結果だけを見れば、悔しい結果ですが、生徒の勝ちたいという気持ちが他校の先生方の心を掴むほど、部員全員が強い気持ちと覚悟を持って戦い抜いた大会だったと思います。

今年度から顧問が変わり、新体制でのスタートとなりましたが、九月からは三年生最後の大会となる選手権予選がはじまります。目標である県ベスト8入りを目指し、現在は県総体での悔しさや、他校の先生方の応援を胸に、日々練習に取り組んで

おります。練習では、特に「コミュニケーション」を大切にしようという日々生徒たちへ伝えていきます。九月まで長いようで短い期間の中で、自分たちができる最大限の力で練習に取り組もうと生徒たちは毎日の練習に励んでおります。

保護者の皆様には、日頃からバスケットボール部の活動にご理解とご協力をいただき深く感謝いたしております。また、OB、先生方の応援や支援があつてこそ現在のであると肌で感じており、部員、顧問一同深く感謝しております。

県大会ベスト8という目標を掲げ日々の練習に励み、様々な方から応援されるようなチームを目指して行きたいと思っておりますので、引き続き応援、ご支援の程よろしくお願い致します。



卓球部



卓球部は、今年度六名の新入部員を迎え入れ、計九名（三年生二名、二年生一名、一年生六名）で活動をスタートしました。五月の県総体団体戦を終え、三年生二名が引退した後は、新チーム七名で日々活動しています。

毎日の練習をしっかりとすることはもちろん、「高校生として基本的な生活習慣をおろそかにせず、しっかりと授業を受け学力を身につけること」や「挨拶や言葉遣いなどをしっかりとする」といったことも、卓球部の活動目標としています。そうすることで、人間の幅が広がり、周りから応

援されるようになるかと考えています。現在は、七月・八月にある高校選手権大会に向けて日々練習に取り組んでいます。今後ともご支援のほどよろしくお願いいたします。

サッカー部

今年度のサッカー部は、三年生六名、二年生三名、一年生五名（内マネージャー一名）の計十四名で活動しています。恵まれた環境とは言えませんが、生徒たち皆グラウンドで活き活きと活動しています。今年度スローガンに「本気」を掲げ、少し



ずつではあります。サッカーに取り組む姿勢や、学校生活など彼らなりに前を向いて進んでいるなど感じる日々です。公式戦でひとつでも多く勝つために日々頑張っており、応援よろしく願っています。

弓道部

弓道部は、三年生三名、二年生五名、一年生二名の計十名で活動しています。各種弓道大会への出場と、段位の取得を目指して日々練習しています。三重県内の中学校のうち、弓道部のある学校は一校だけです。そのため、部員はほぼ全員が初心者です。外部指導者の先生や上級生からの指導のほか、部員どうしがお互いの射について助言し合うことなどを通じた技術の向上を目標としています。種目の特性として、弓を引く瞬間は自己と向き合うこととなります。その一方で、団体戦においては他者と協力することも求められ、選手、応援の生徒を含めた部員全員で作り上げた雰囲気、試合の結果に大きく影響します。五月末に実施された三重県高校総体では、男子一名が予選を突破して決勝へ進むことができました。「決勝へ

進出する」「コンスタントに的中を重ねる」といった目標を立て、着実に実行していく姿に成長の様子が表れていました。また、応援していた生徒も、「次は自分も」という気持ちを強く持ったようです。これからも正射必中を目標として全力で取り組むことで、主体的行動や他者貢献できる力を培っていききたいと考えています。最後になりましたが、弓道部の活動につきまして、日頃よりご理解・ご協力いただき、ありがとうございます。

テニス部

テニス部は今春三名の新入部員を迎え入れ、計十名で活動をしています。多くの部員は軟式テニスの経験者で、高校入学後に硬式テニスに切り替えました。最初は軟式と硬式の違いに戸惑いの大きい生徒たちでしたが、二ヶ月近くが経ちだんだんと慣れてきたようです。月曜日から金曜日まで、暑い日も寒い日も黄色いボールを追いかけて汗を流しています。普段の練習は、自主的に試合中心でやっているのですが、まずは大会に出場することを目的に練習していま

す。みなさまの応援をよろしく願っています。

吹奏楽部

吹奏楽部は、現在三年生一名、二年生三名、一年生二名の計六名で、今年度は月曜日から金曜日まで活動しています。年度当初は部の存続が危ぶまれる状況でしたが、新たに二名の新入部員を得て、なんとか部としての体を成しています。

それでも他校の吹奏楽部とは比較にならない程の少人数ですが、その分濃い人間関係の中で演奏を楽しめるのが利点です。成果主義とは全く縁のない世界ですので、放課後のゆったりとした時間が流れる音楽室で、各人がのんびりと自分のペースで技術を高めています。

ただ、残念ながら今年度も新型コロナウイルス感染症の影響は避けられず、春に予定されていた中勢地区高等学校吹奏楽演奏会（フレンドシップコンサート）は昨年を引き続き中止となりました。

まだまだ新型コロナウイルスの影響で先が見えない状況ですが、徐々に日常の活動を取り戻しつつもあり



体育祭 (6月)



クラブ紹介 (4月)

ます。夏の高校野球応援は三年ぶりに実施される予定ですので、新入生のデビューを兼ねて連日練習に励んでいます。今後も数少ない演奏機会を出来る限り充実させるべく、地道に活動を続けていきたいと思えます。今後、コロナ禍が終息し、地域のイベント等の機会があれば積極的に参加できるように、準備を整えておつもりです。

美術部

美術部は、現在三年生が四名、二年生が七名、一年生が八名の計十九名で月曜日・火曜日・木曜日の週三回活動しています。

四月からは、クロームブック等のICT機器・電子媒体等も利用し、学校図書館が発行する「白山高校生に読んでほしい本」の表紙、裏表紙の挿絵にも取り組みました。部活動中は、穏やかな空気の中で、生徒それぞれが活動しています。無心になって取り組む時間は、多感な年頃の生徒達にとって心のバランスを取る意味でも有意義であること



実感しています。絵を描くのが大好きな生徒ばかりです。上手い、下手は関係なく、絵を描くのが好きな人は是非一度遊びに来てください。二学期以降は、薬物乱用防止ポスター、交通安全ポスターにも積極的に参加する予定です。

また今年度は、毎週火曜日の放課後に松山先生にお越しいただき、油絵を指導していただいております。本格的に美術を学びたい人、自分のペースで好きな作品を作りたい人とそれぞれの思いに伝えられる環境が今年度は整った状況にあるので、大きなチャンスと捉え、さらに活動の幅を広げて意欲的に取り組んでいきたいと思っております。



書道部

書道部員は、一年生が一名です。月曜と木曜の放課後に書道室で練習に励んでいます。とても熱心に活動してくれているので、もう少し部員が増えてくれることを望んでおります。

今年度は、新型コロナウイルスの影響も少なく、三重県高等学校文化連盟書道部門の行事が行われることを期待しています。他校の生徒との交流を楽しみにしています。今後の大きな行事は、「みえ高文祭」「生徒・教員展」での出品・展示があります。校内の文化祭でも「書作展」を実施し、作品を展示する予定です。多くの方に見ていただければ、幸いです。

家庭部

家庭部は、現在三年生四名、二年生三名、一年生一名の計八名で活動しています。

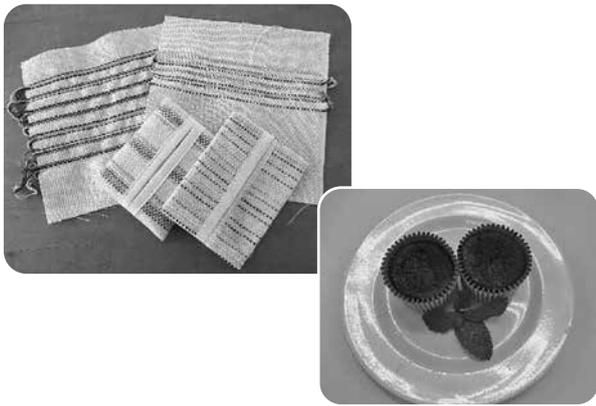
四月、五月は、お菓子作りをしたいという希望が多い中、調理室を使つての活動が難しく、スウェーデン刺繍にチャレンジしてみました。毎日の生活の中で糸や針を使つての作業をする

機会は減っていますが、様々な色糸を使い、楽しく刺繍に取り組むことができました。刺繍は完成したらティッシュケースなどの小物入れができあがる予定です。

六月に入ると、感染予防を行なって調理室での活動を始めました。まずは、部員の希望でガトーショコラから始めました。久しぶりのお菓子作りに大満足でした。

今後は、文化祭に向けての活動になります。昨年同様、テーマを決めて、自分たちが考えたお料理やお菓子のレシピを、みなさんに紹介したいと思っています。

家庭部は少ない人数ですが、毎週



楽しく活動しています。手作りの良さ、物を作る楽しさを感じながら、学年を越えて協力し、楽しく今後も活動していきたいと思っています。

商業部

商業部は、平日の放課後に週三回の活動を実施しています。活動内容は、ビジネス文書検定や情報処理検定などの一級合格を目指して自主的に勉強しています。また、昨年度はイオンモール津南で開催された産業教育フェアに参加して、朝の九時準備開始から夕方までの販売時間の最後まで販売実習を行い二日間とも大盛況で、小生のお客様に喜んで頂きました。

令和四年度に入り、地域の家城地区クリーン作戦も三年ぶりに開催され、商業部も地域の方との交流を深めるために日曜日に清掃活動に参加をしました。また、昨年度好評を頂いていた産業教育フェアを、今年もイオンモール津南で開催できるようにになりました。従来の三重県総合文化センターとは違う、商業施設での開催のため、商業部として、コラボレーション企画も計画し、実施できるようにみんなでアイデアを出して企画

を練っています。

徐々にコロナ禍でも安全対策を行いながら、様々なイベントが実施されるようになり、制約がある中でも与えられたルールの中で、知恵を絞る魅力あり、実りがある企画を考えることで生徒達の成長を見て取れます。また、各種イベントで白山高校商業部がお邪魔することもあると思います。その際には、どうぞ応援よろしくお願いします。



今年度家城地区クリーン作戦



昨年度産業教育フェア

茶道部

本校茶道部は例年、校内の活動だけでなく校外のイベントにも参加をさせていただいております。しかし、新型コロナウイルス感染症対策の観点からイベントが中止になり、校内での活動のみを行う日々が続いております。君ヶ野ダム公園桜祭り、家城地区文化祭、一志病院健康のつどいなどのイベントは、地域の方々とふれあいを通して一人ひとりが成長できる、とてもよい機会でした。部活動を通して、貴重な経験ができる日が一日も早く来るように、部員、顧問とも願って日々のお稽古にはげんでおります。今後とも、よろしくお願いたします。

